



平成29年
12月号



発行人 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 田原公民館
〒747-0178 奈良市若荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

「魔法の時間」

館長

泉森

由貴

「子規愛でし 大和は今も柿の国」

目に鮮やかな秋です。今、田原の風景を描いたら暖色系の絵の具は全部無くなってしまおうでしょう。遠くの山々に黄や赤が混じった高原の風景は何処を切り取っても名画になりそうです。右の句は田原俳句塾の竹内秀興さんが朝日新聞奈良総局長賞を受賞されたもの。秋の風景の主役は何と言っても柿です。鈴なりに実ったその姿は今しか見られない大和の歴史です。正岡子規が愛した柿の子孫を私達もどこかで触れ、口にししているのかもしれない。

「山豊作、里不作。」そんな柿のように木の上の生りものはあんなに実っているのに、畑のものは思った以上に採れなかったそうです。10月の長雨が影響したのででしょうか。農業をされる方にとって自然は美しいものばかりではないということを改めて教えられます。

ところで、皆さんは「マジックアワー」という言葉を聞かれたことがありますか。映画や写真の世界で使われる撮影用語で、和訳すると魔法の時間となります。それは日没後、太陽は沈み切っているが、まだ辺りが残光に照らされているほんのわずかな、しかし最も美しい時間帯を指すことです。光源である太陽が姿を消しているた

め限りなく影の無い状態が作り出される状態となり、色相がソフトで暖かく、金色に輝いて見えるそうです。良く晴れた日、それも一日に長くても数十分程度しか訪れない特別な時間です。季節は12月。冬至が近づき、山に囲まれた田原の日没は更に早い気がします。

わずかなその魔法の時間に山豊作の風景を目に焼き付けて、今ここに居るご縁と美しさに目を向けていたいものです。



年の初め、東雲色の希望の夜明けですとあいさつしたこの館報ですが、早いものでもう一年のマジックアワーを迎えています。魔法の時間はあっという間に過ぎ去るものです。お正月の準備、冬支度はお済みですか。今年も一年、公民館を支えてくださった地域の方、ここを愛して何度も足を運んでくださる地区外の方。田原公民館は皆さんのおかげで成り立っているのです。皆さんの元にも幸せな魔法の時間が訪れますように。どうぞ良いお年をお迎えください。

ふるまいケーキ作り



こぼれないようにしっかり混ぜて

染織家の吉屋慧実子さん特別展



自主グループと地域の方の作品展



田原なんでも文化祭

ありがとうございました



長かった10月の雨も今は昔。2日間に晴れ渡った11月4日・5日の「田原なんでも文化祭」は今年も大賑わいでした。恒例の菊花展やジャンボかぼちゃ展に始まり、日頃公民館で活動されている自主グループの作品展、サミットを直後に控えた小中学校の作品展、地域の才ある方の展示、染織家の吉屋慧実子さんの特別展、ペットボトル・空き缶の風車づくりなど見どころたくさん。初日。チャリティーバザーでまずはたくさんの方の来場者。珍しい氷こんにやくの和風カレーの販売。キッズのカップケーキのふるまいなどで心とお腹を満たしてくれました。子どもたちはリズムダンスで身体を動かした後、綿菓子を自分たちで販売して売上げをチャリティーに追加しました。2日目はしし汁のふるまい、おにぎりの販売。そして8つのグループの皆さんによる舞台発表が行われました。記念公演はタンタナクイさんによる「アンデス音楽の調べ」と題した音楽会があり、手作りの珍しい楽器を使った演奏を聴くことができました。皆さんのご協力ありがとうございました。

リズムダンス



客席の熱気で会場は暑く感じるほどでした。

アンデス音楽



体験コーナー



自主グループ学習発表

チャリティーバザー

会場の様子





取材：泉森 由貴
写真：吹ノ戸由実子

11月3日にオープンしたアート&カフェ 水仙月の本田満広さんにお伺いしました

秋深まる11月半ば。日笠町に新しくオープンしたアート&カフェ水仙月を訪ねました。

▼本田さんには以前、満天ひろばの取材でお話ししましたね。●そうですね。昨年7月に1階の工房がオープンしたときからこちらに勤めています。▼県道から入ったここは2階ですか。●一階には紙すき工房があり、外階段を上がるとこの水仙月があります。▼ではまずネーミングについてお聞かせください。●宮沢賢治さんの童話「水仙月の四日」からいただいています。ロゴマークの水仙は希望という意味があるんです。▼木の香りが漂う落ち着いた空間ですね。●1階がコンクリート調なので、2階は気軽に入っていたいけるよう木のぬくもりを大切にしています。

▼営業時間と定休日を教えてください。●10時～17時まで。定休日は火曜日です。あと年末年始に少しお休みがあります。▼メニューにはどんなものがありますか。また、こだわりなどは。●田原や周辺を意識した大和茶とスイーツがメインです。お茶は種類によって飲み方が違います。急須に湯飲み、砂時計や温度計などを準備しておいしい飲み方の一つをご提案させてもらっています。ここまで足を運んでもらうことに意味を感じてもらうために特色を出したいと思っています。また、休耕田を利用したさつまいもを食材に使っています。

す。ゆくゆくはランチメニューも含めていきたいと思っています。うちは就労施設なので利用者さんの働く場として非常に意味があるんですよ。▼本田さんが感じる田原のいいところ、好きな場所は何処ですか。●住んでいる方がとても親切ですね。紙すきに使う竹の伐採も地元の協力があるからできるのです。ここから望む景色もいいですね。利用者さんとよく散歩に出かけます



▼カフェの前にアートとあるのは？●利用者さんの魅力のアートという形でも発信していくためです。今は一人の利用者さんの作品を中心に壁面を飾っています。定期的に作品を入れ替えていきたいと思っています。▼これからどんな店にしていきたいですか●地元の魅力、利用者の魅力、おもてなしの心が伝わるようなお店にしたいです。このテーブルはホワイトオークと呼ばれる建材を使い、青葉仁系列のどんぐり山猫工房で作りました。ロールカーテンは手すきの和紙で1階の工房のもの。ここにあるほとんどに意味があります。ちょっとしたところにもストーリー性を大切にしているんですよ。もうすぐ北の駐車場側にはテラス席が完成します。またイベントなどでお茶のおいしい飲み方などもやってみたいですね。▼公民館と一緒に田原を元気にしていきたいですね。本日はありがとうございました。

「神主に聞く！よもやま話」 受講を終えて

去る11月9日。講師に地元の神主である北森重人さんを迎えた講座を実施し、受講者の方から次のような感想をいただきました。

大変厳粛かつ難しい講義なのであろうと思いつながら気を引き締め参加させていただきました。幼い頃から母親の教えで『神様はすつと行動を見ているから悪いことは絶対に行わないように』と教えられて来ました。神についての知識は書物か身近な方の教えや作法を見真似しながら習得しただけで、今回初めて・神職とは・神事とは・祭具の読み方・参拝作法・家庭でのお祭り・鳥居の様式等を詳しく学ぶ機会をいただきました。先祖や親を敬い感謝しながら人間の命の尊さや自然の恵みを受けて働くことにより地域の伝統を守り続けるという大切なことを教えていただきました。(感想文より)



奈良市都祁保健センター

○食推うまいもの調理実習「減塩のこつ」

日時：12月14日(木) 午前9時半～午後1時

場所：都祁保健センター

持ち物：エプロン、三角巾、手拭きタオル、筆記用具

参加費：500円

申込：12月6日(水)まで。定員18名

主催：奈良市食生活改善推進員 都祁グループ

お問い合わせ・申込みは

奈良市都祁保健センターまで

電話：0743-82-0341

12月の公民館行事とその他のお知らせ

2日(土) 第7回 TAWARAキッズ クリスマス会 10:00～11:30

6日(水) プチ田舎暮らし・田原 -果樹冬期剪定- 10:00～12:00

15日(金) 第2回 プチ田舎暮らし・田原 -串柿としめ縄- 13:00～16:00

23日(土) 天皇誕生日のため休館

年末・年始の休館日・休業日

田原公民館：12月27日(水)～1月5日(金)

田原連絡所：12月29日(金)～1月3日(水)

年末年始は業務日が違います。ご注意ください。

Merry Christmas

教育ボランティアサークル
アンダンテと公民館のクリスマス会

参加は自由、幼稚園までのお友達もお家の方と一緒に

- 日時：12月2日(土) 午前10時～11時30分頃まで
- 場所：田原公民館 2階集会室
- 参加費：無料
- 内容：飾りマグネット作り、ハンドベルの演奏、ゲーム、お菓子のプレゼント、アニメ上映など楽しいプログラムがいっぱいの1時間30分です。